

番号	52	名称	一ツ橋
指定日	平成 19 年 3 月 28 日	所在地	一ツ橋二丁目～一ツ橋一丁目（日本橋川）
設計者		竣工	大正 14 年（1925）
			
<p>歴史・文化的特徴</p> <p>江戸期に一ツ橋御門が置かれ、見附橋としての一ツ橋がかけられていた。その場所と名前を受け継ぐ橋である。</p> <p>震災復興橋梁である。</p>			
<p>意匠・構造の特徴</p> <p>隅田川右岸につくられたラーメン橋台橋 12 脚のうち、当時の姿を現存する唯一の橋。</p> <p>河岸に RC 造の橋台を設け鋼製の橋桁を渡す珍しい形式の橋。</p> <p>石造風で古典的な橋台、橋灯を兼ねた親柱などの意匠が特徴的で、鋼桁部分との対比が面白い外観である。</p>			
<p>周辺景観との関係</p> <p>橋上からは、橋台部分の石造風の高欄、親柱、対比的な鋼桁部分の手すりなどが目に入る。橋上からの眺望は首都高速道路の高架等によりあまり良くない。</p> <p>水面からラーメン橋台橋の印象的な外観を見ることはできるが、高架の橋桁などが交錯しており、圧迫感のある景観となっている。</p>			